

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 285 号	氏名	周 紅波
学位審査委員	主 査 中尾 一彦 副 査 永山 雄二 副 査 由井 克之		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価 本研究は、インスリンアナログペプチドワクチンによる 1 型糖尿病発症抑制効果を 1 型糖尿病モデルマウスを用いて検討したもので、目的は十分に妥当である。			
2. 研究手法に関する評価 酵母で発現させたコレラトキシン B サブユニット（アジュバント）とインスリンアナログペプチドの融合蛋白を、1 型糖尿病発症前マウスに経鼻投与（酵母抽出蛋白）ないし経口投与（酵母そのもの）し、1 型糖尿病発症抑制効果を検討したもので、研究手法も妥当である。			
3. 解析・考察の評価 経鼻投与では全く発症抑制効果を認めなかった。一方、経口投与では有意差には至らなかったが、発症抑制傾向を認めた（p=0.08）。効果が不十分であった理由として、酵母における融合蛋白の発現量が少ないこと、ワクチン手法の問題点などが上げられた。今後、これらの問題点を改良することにより、1 型糖尿病発症予防効果の改善が期待される。			
以上のように本論文は 1 型糖尿病の発症抑制を目指した研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			